



市内小中学校で入学式

ピッカピカの一年生!

4月8日(木)と9日(金)に市内の小中学校で入学式が行われました。

写真は9日に行われた深川小学校の様子です。107人の新入生が在校生や保護者からの温かい拍手に迎えられて入場。在校生を代表して6年生の田中里枝さんが「深川小学校では机敷集いや鍛錬遠



足、縦て割り班遊びなど楽しい行事がたくさんあります。早く学校に慣れて一緒にステキな思い出をたくさん作っていきましょう」と歓迎の言葉を贈りました。

式場では緊張した表情の子どもたちでしたが、教室に戻ると早速元気な声があちらこちらから聞こえていました。

今年度、市内では小学校に284人、中学校に337人が新たに入学。新しい制服に身を包んだたくさんの新1年生が、希望あふれる学校生活をスタートさせました。



湯本温泉オリジナルの土産品が完成!

萩焼の香皿と二輪挿し

3月27日(金)、湯本温泉オリジナル土産品の製作発表が湯本温泉旅館協同組合で行われました。

これは、湯本温泉を訪れる観光客向けのお土産品を開発しようと同組合青年部が中心となって一年かけて開発を進めていたもので、萩焼の「恋叶う二輪挿し」と「ぬくまるくん香皿」の2品が完成しました。

40歳以上の女性客をターゲットとして開発したということで、アンケートでは萩焼や蒲鉾を望む声が多かったことから、萩焼の製品で開発を進めたとのこと。今後は各旅館で香皿は2,000円、二輪挿しは3,005円で販売されます。

休耕田の有効利用に役立てて

農機具を無料で貸し出し

4月10日(金)、JA長門大津三隅ライスセンターで、農機具の引渡式が行われました。これは、長門地域担い手育成総合支援協議会が、市内の耕作されていない農地を有効に利用してもらおうと、市内の農業団体に対して協議会所有の農機具を無料で貸し出す取り

組みで、今回はじめて実施したものです。

機械を安全に使うための講習会の後、市内の10団体に草刈機や土壌改良器具などが貸し出されました。協議会では、貸し出しの要望が多いことから新たな機械器具の購入を予定しています。



湯本温泉配湯施設安全祈願祭 待望の配湯施設が完成!

3月26日(木)、湯本温泉源泉配湯施設が完成し安全祈願祭が行われました。最初に大寧寺住職による祝詞があげられた後、関係者が焼香しました。その後、松林市長と中野副議長がボイラーの点火ボタンを押して竣工を祝いました。この温泉配湯事業は、従来

の施設が老朽化したため配湯センターと全長3kmに及ぶ配管を更新したもので、源泉のまま配湯する方式に変更されました。平成16年度から平成20年度までの5カ年計画で、事業費は約4億円。この完成により燃料費や人件費などが大きく削減できます。



市内各地で稚鮎の放流

大きく育って帰っておいで!

市内各地で稚鮎の放流が行われました。

三隅地区では4日(土)、三隅地域環境パートナーシップ会議の主催により、三隅川河川公園「清流」など9カ所で、約1万匹の稚魚を放流。

三隅保育園と宗頭幼稚園の園児が、「三隅川をきれいにします。ゴミは絶対に捨てません」と誓いの言葉を言った後、体長7〜8cm程度に育った稚魚の入ったバケツを手に川沿いに並び、合図に合わせて



▲三隅川河川公園の様子

て一斉に川に放ちました。

深川地区では22日(水)、深川川漁業協同組合により、深川川河川公園など6カ所で約3万6千匹を放流。

深川川河川公園では深川小学校の児童が、湯本の義隆橋上の囲堰では向陽小学校の児童がそれぞれ放流を体験しました。

どちらの会場でも、子どもたちは元気に川を泳ぐちいさな鮎の姿を楽しそうに見つめていました。



▲深川川河川公園の様子